

2025年度第2回日本学連定例総会議事録

【日程】2026年3月24日(火) 21:00 ~ 22:40

【開催場所】zoomを用いたオンライン開催

【議事録作成者】西澤汰知(東北大学)

【目次】

1.日本学連の新規事業者契約について.....	2
2.来年度以降の新規施策について.....	2
3.日本学連版権地図の地図修正にかかる費用の継続的な支出について.....	3
4.2025年度中間決算報告.....	4
5.2026年度予算および支出の承認.....	4
6.学連規約の改正について.....	4
7.学連登録のJapan-O-entrY移行と関連規則の改正について.....	5
8.来年度幹事・新理事の承認.....	5
9.2025年度下半期の地図管理業務の実績報告.....	6
10.日本学連からのお知らせ.....	7

1. 日本学連の新規事業者契約について(根岸)

概要

関西地区の日本学連保有テレインの管理をNishiPROに委託する、来年度以降の契約の一部に関しての値上げが主な変更点となる。

詳細な変更点として、

- ・倉庫賃借契約に関して、保険料や光熱費の高騰を受けて5万円値上げ。
- ・青山高原とマキノのテレイン、地図管理業務を委託する。
- ・地図管理に関する契約に関して、業務委託料の実態に即した金額設定に変更(サイズによる細かな料金設定、2つのテレインをまたいだ地図料金設定等)、著作権代の明確な定義の設定。お金の流れは、利用者が業務委託料と著作権代を委託業務者に支払い、業務者は著作権代を日本学連に支払う形となる。
- ・関西地区の日本学連保有テレインの管理では、地元渉外には大きく関わらない。

今回の総会ではNishiProとの関西地区の日本学連保有テレインの業務委託の是非に関して決議をとる。

投票

google formにて1週間以内に投票を行い、決議
過半数の賛成により可決

2. 来年度以降の新規施策について(石川)

概要

新規施策として学生運営大会における保健料の補助を実施したい。

詳細としては

- 大学・大学クラブ単位で運営される公開大会における保険料支払分の費用を日本学連より全額支弁するというもの。
- 補助の条件
 - 参加者が公開募集されていること
 - 主催・主管・共催に日本学連に正準加盟する大学名または正準加盟する大学が所属するクラブ名が含まれていること、または地区学連主催の大会であること
 - 本連盟が指定するJOAの保険(賠償責任保険・行事参加者保険)を利用していること
 - 所定の申請フローを過不足なく踏んでいること(正しくフォームや請求書などの書類が提出されていること)

保険はJOAが主催する行事参加者災害補償保険を利用する。保険料の補助は当該行事の開催日のみ対象とする。全体予算は今年度の大会・練習会数から80万円程度である。

保険の申請フロー

1. 行事開催初日の3日前までに行事開催届をJOA事務局に提出する(→受理される)
2. 行事開催初日前日までに(関東学連・東海学連加盟校は1週間前までに)大会・練習会申請を日本学連にフォームにて提出する
 - a. 日本学連が著作権を所有する栃木県テレインを利用する場合は、別途定める期限

までに利用申請を提出すればOK

b. 地区学連主催行事に関しても来年度からは提出するようお願いします

3. 行事を開催する
4. 行事完了届を、行事開催最終日の1週間後までにJOA事務局に提出する。日付、競技種目および実施内容、実参加者数、行事運営者数、所要時間も併せて報告する。(→受理される)
5. JOA事務局から、主催者の負担額について通知を受ける
6. JOA事務局の通知から2週間以内に保険料の精算を行う
7. JOAに支払った保険料の額を証明する書類(請求書や振込明細、保険料負担額が通知されているメールのコピーなど)を添付し、日本学連事務局宛に補助の申請を電子メールにて行う
8. 日本学連幹事会は、行事主催者からの電子メール申請、添付されている負担額の証明および大会・練習会申請フォームの回答内容を精査したうえで、補助の可否を決定し主催者に通知する
9. 補助が承認された場合は、後日、日本学連より指定された口座に補助額が振り込まれる

事務局へ補助のメールを出す際は次の内容を含めること

- 対象となる行事の正式名称
- 行事の開催日程
- 主催・主管・共催者名
- 実参加者数、行事運営者数、所要時間(JOAに申請したものと同じ)
- 希望する補助額
- 振込を希望する口座の情報(銀行名・支店名・口座種別・口座番号もしくは記号番号)
- JOAに支払った保険料の額を証明する書類(請求書や振込明細、保険料負担額が通知されているメールのコピーなど)

決議は2026年度予算で取る。

3.日本学連版権地図の地図修正にかかる費用の継続的な支出について(石川)

概要

今後は新しく日本学連版権のテレインを開発するのではなく、これまでに開発してきたテレインの修正を毎年少しずつ回していきたい。修正するタイミングはここ数年では関東OBOG運営のセレクションかインカレがほとんどを占めている。

ここ2年の関東学連主催のミドルセレにおいて、地図調査・修正費用が嵩み日本学連にその費用支出を依頼する→幹事会 or 総会での承認を取ることが起こっている。これを毎年行うのは日本学連の予算の正常な執行の妨げになるだけでなく、セレクションの運営者にとっても、運営上の不確定要素を増やす要因になる。

日本学連版権テレインの大規模地図修正にかかる支出を毎年の予算に正式に組み込むことによって、毎年起こる地図修正費用支弁のフローを簡素化するとともに、より計画的に版権テレインの地図のメンテナンスをできるようにする。

来年度以降の運用について、来年度予算より、「地図修正費」の使途を日本学連版権テレインの大規模修正の委託費用と明記して運用する。日本学連版権地図の地図を大規模に修正して

2025年度第2回日本学連定例総会議事録

大会や練習会を開催しようとするもの(主管者はセレクション実行委員会に限らないが、インカレ実行委員会は除く)は、その地図修正にかかる費用の補助を日本学連事務局に申請することができる。年間予算は60万円で、一度の申請につき上限を30万円として、年間上限2件(支出状況によっては、回数を増やすこともありうる)の補助をすることとする。受理した申請について、日本学連幹事長と日本学連会計による精査・相談の上、補助の可否および補助金額を決定し、申請者に通知する。補助を行う場合は、後日指定された口座に振り込まれる。

日本学連の事務局に補助の申請をする際は、必ず以下の内容をメールに含めること

- 地図修正の目的(どのようなイベントに利用するのかなど)
- 修正予定期間
- 修正希望テレインおよび範囲(具体的に図示されていることが望ましい)
- 修正のかかる費用の見積額および見積額の算定根拠
- 修正者(委託予定の場合は委託先予定を明記のこと)
- 希望する補助額
- 振込を希望する口座の情報(銀行名・支店名・口座種別・口座番号もしくは記号番号)

決議は2026年度予算で取る。

4.2025年度中間決算報告(町田)

概要

ICMR2024の黒字返金が大幅に増加していたため全体として黒字となっている。事務局維持費は山川氏と坂野氏 への賃料等の支払いとなっている

5.2026年度予算および支出の承認(町田)

概要

概ね例年通りであるが変更点としては

- ・日本学連HPの開設費用
 - ・学連合宿費用補助
 - ・NishiProとの契約による委託料
 - ・版權テレインの大規模修正の委託費用補助
 - ・学生主催大会における保険料の支払い補助
- となっている。

投票

google formにて1週間以内に投票を行い、決議
過半数の賛成により可決

6.学連規約の改正について(石川)

概要

日本学連規約の改正を行う

- ・本連盟の所在を坂野山遊地図企画の住所に変更

投票

google formにて1週間以内に投票を行い、決議

過半数の賛成により可決

7.学連登録のJapan-O-entrY移行と関連規則の改正について(石原・石川)

概要

来年度からJapan-O-entrYを介した学連登録に変更される。それに伴い日本学連規則の改正を行う。

- ・学連登録の反映機関の変更
- ・競技者登録料の納入フローの変更(加盟校からJapan-O-entrYへ加盟料をひりこみ、その後地区学連ごとに定めている加盟料分を日本学連から地区学連へ分配する。)

8.来年度幹事・新理事の承認(石川)

来年度幹事

幹事長 美濃部 遼(筑波4)

副幹事長 高橋 悠(横浜市立4)

会計 山口 歩(東京3)

会計監査 小河 凜太郎(大阪公立3)

会計監査 大上 笙太(東京科学2)

事業部長 加藤 賢斗(筑波4)

広報部長 石井 雅人(東北4)

普及部長 湊 菜々子(茨城4)

渉外部長 佐藤 若葉(東北3)

事務局長 久島 典子(京都3)

北東学連幹事長 萬年 環(東北3)

関東学連幹事長 磯貝 遥希(東京理科3)

北信越学連幹事長 早坂 佳夏(新潟3)

東海学連幹事長 神園 遼真(名古屋3)

関西学連幹事長 船門 哲生(大阪3)

中九四学連幹事長 大森 洸美(広島3)

来年度新理事

毛利智紀(京都大学卒):日本ランキングにかかる対応

投票

google formにて1週間以内に投票を行い、決議
過半数の賛成により承認

9.2025年度下半期の地図管理業務の実績報告(坂野)

概要

2025年度4月1日から3月31日までの12ヶ月間の地図印刷枚数はA4サイズ換算で9951.5枚、
売上金額3,611,200円。うち学連著作権分は2,235,875円。大規模地図修正を行った大会に対して
は著作権代減免措置(著作権代無料)を適用している。2025年度の減免措置適用大会は関東ロング
セレ、北東ロングセレ、秋インカレ、関東ミドルセレ

地図修正の報告

・塩谷熊ノ木

9月開催の中高選手権の直前に、最低限成り立つ程度に全体的に修正

宮西山野精図の宮西優太郎氏へ委託、109,780円

・日光例幣使街道

地図図式と座標系の更新、レーザー測量反映作図および、伐採箇所の現地調査

高橋ひなの氏へ委託、200,000円、4月利用から発行予定

問題や事案について

前回報告済事項

日光例幣使:大規模伐採作業により立ち入りの注意勧告

日光毘沙門山:子熊の目撃

日光不動の滝北:怪我による救急車、千葉大

日光野口、所野、愛宕山:ヤマビルの拡大

塩谷熊ノ木:蜂刺され

日光愛宕山:現在地ロストにより地元の人による送迎と注意、茨城大

塩谷熊ノ木:同上、中高選手権

矢板倉掛:拠点で道路に広がっていることを役所へ通報&注意、OLK

矢板城の湯:駐車場を利用する際は事前に一報することと、施設利用すること

新規報告事項

矢板倉掛:現在地ロストにより地元の人による送迎と注意、OLK

日光毘沙門山:カフェ駐車場の利用不可(坂野の指示の誤り)

矢板山田:狩猟グループとの遭遇(入間)

矢板塩田:大型動物の気配(千葉)

矢板築目川(長井):ダム北部で伐採エリアの発生、事前に連絡あり調整(千葉)

矢板築目川(長井):芝生への車両侵入痕跡の注意(オリエンティアではない?)

矢板築目川(長井):ダム脇の細い舗装路ですれ違いの際に側溝へ脱輪(千葉)

連絡事項

- ・練習会用地図の独自印刷、既存の販売地図をコピーしてのオリエンテーリング使用は認めない。安全管理、渉外、料金徴収の面で多数の不都合が生じる。インカレやセレでの下見や調査目的の利用、大会での誘導地図等は例外として認めることがある。
- ・狩猟グループとの遭遇時はコミュニケーションを取って危険のないように行動すること。たいていは狩猟者がエリアを変更してくれますが、必要に応じて柔軟にスタート時間の変更やコース変更すること。
- ・狩猟期間は日本全国で一般的に11月15日から翌年2月15日まで(地域やエリアや狩猟対象によって若干異なる)である。地元住民だけでなく遠方からでも狩猟者が来るので事前連絡や把握調整は不可能であり、重要なレースをこの期間に開催しないように。
- ・基本的なトレイン利用方法の問い合わせ、利用案内や拠点位置や駐車場利用条件の質問など、手引を読まずに問い合わせされることが頻発している。
- ・コースデータの提出期限遅れ、データ提出後の枚数変更などが常態化している。依頼内容の無茶な追加や変更、報告フォームの提出遅れも頻発している。規則と期限を遵守すること。
- ・下絵の縮尺や解像度の設定間違い、紙面サイズやレイアウトを無視したコース、一般的なOCADの使用方法を理解していないコース設定など初歩的なミスが多発している。
- ・緊急連絡先記載漏れ、位置説明の配置無しや記載の間違い、コース番号配置やレッグ線の切断、全コントロール枚数指定忘れ、コース設定者と申請者の齟齬(コース名の差異、拠点位置の違い、緊急連絡先の間違い)

10.日本学連からのお知らせ(石川)

概要

大会・練習会申請および報告書の申請を遵守すること

春インカレ直前期のトレイン利用に関するアンケートの回答